

2016年10月28日

【質量分析トレーニングコース(臨床質量分析共用プラットフォーム主催)のご案内】

■■■ 臨床質量分析共用プラットフォーム主催 ■■■
■■■ 第1回質量分析トレーニングコースのご案内 ■■■

今年度より文部科学省先端研究基盤共用促進事業・共用プラットフォーム形成支援プログラム「臨床質量分析共用プラットフォーム(MS共用PF)」を運営されている横浜市立大学・平野久先生、国立がん研究センター・山田哲司先生、北里大学・小寺義男先生より、第1回質量分析トレーニングコース開催のご案内が届きましたので、お知らせいたします。

質量分析トレーニングコース

平成28年10月28日

横浜市立大学、国立がん研究センター、北里大学は、文部科学省の先端研究基盤共用促進事業「共用プラットフォーム形成支援プログラム」において、研究者がタンパク質の質量分析を行うことができる臨床質量分析共用プラットフォーム(MS共用PF)を構築し、わが国のプロテオーム研究の推進に役立てたいと考えています。この度、共用プラットフォームの活動の一環として、最新のタンパク質質量分析法に関する実習会を開催いたします。タンパク質の質量分析に関心をお持ちの皆様のご参加をお願いいたします。

MS共用PF担当 平野 久, 山田哲司, 小寺義男

日 時： 平成28年11月28日(月) 9:00~11月29日(火) 18:30

会 場： 横浜市立大学先端医科学研究センター(福浦キャンパス)

〒236-0004 神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

横浜新都市交通シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩5分

主 催： 臨床質量分析共用プラットフォーム

(横浜市立大学、国立がん研究センター、北里大学)

後 援： 日本プロテオーム学会、日本電気泳動学会

東レリサーチセンター、メディカルプロテオスコープ、ABサイエックス、

サーモフィッシャー、ライカ、スクラム、KMデータ

定 員： 10名(希望者が多い場合、選考があります。)

対 象： 大学・研究機関・企業の研究者や大学院生等

参加費： 無料

内 容：

講 義（平野 久, 山田哲司, 尾野雅哉, 小寺義男, 木村弥生 他）

質量分析概論

血中タンパク質のショットガン分析とその応用

翻訳後修飾の解析と疾患プロテオミクス

MRM、DIA解析によるペプチドの定量 など

実 習

リン酸化ペプチドのアフィニティー精製

抗体カラムを用いた血中高濃度タンパク質の除去

血中非変性ペプチドの精製

レーザーマイクロダイセクションによる検体からの試料採取

質量分析装置実習 (Orbitrap MS, Q-ToF 5600, Triple-Q 5500)

質量分析データの解析 (MRM, DIA解析, Progenesis Q1を用いたペプチド定量解析,

Keymolnetを用いたパスウェイ解析) など

*11月28日 19:00～ 懇親会 (希望者)があります。

参加申し込み：下記URLより、申込フォームに必要事項を記載してご送信下さい

<https://goo.gl/forms/XrRMcrSPAXjZjHtE3>

申し込み締切：11月15日（火）17:00

お問い合わせ先：

事務局 香川裕之、木村鮎子（横浜市立大学 先端医科学研究センター）



Tel 045-787-2519

* お問い合わせには、下記フォームをご利用下さい

<https://goo.gl/forms/ON9uyr9KoPGkLfRM2>

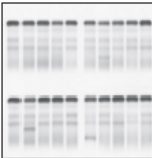
質量分析トレーニングコース プログラム

11月28日 (月)		11月29日 (火)	
9:00	講義：質量分析概論 (平野)	講義：定量プロテオミクス① (ショットガン・TMT) (Thermo)	9:00
		講義：定量プロテオミクス② (MRM・DIA) (AB Sciex)	
10:00	休憩	休憩	10:00
10:15	実習①：試料調製 (1) StageTipによるペプチド精製 およびリン酸化ペプチドの アフィニティー精製 (井野・秋山・ 木村(鮎))	実習④：質量分析装置の原理と 試料の分析 1) Orbitrap MS (Thermo, 香川) 2) Q-TOF 5600 (AB Sciex, 岡山) 3) Triple Q5500 (AB Sciex, 増石)	10:15
12:00	昼食	昼食	12:15
13:00	講義：血中タンパク質の ショットガン分析とその応用 (尾野)	実習④つづき	13:15
14:00	休憩	休憩	14:15
14:15	実習②：試料調製 (2) 抗体カラムを用いた血中高濃度タンパク質の除去および血中非変性ペプチドの調製 (小寺・中居・伴)	実習⑤：データ解析 (1) 1) SWATH (AB Sciex) 2) Skyline (Thermo)	14:30
16:00	休憩	休憩	15:50
16:15	実習③：試料調製 (3) レーザーマイクロダイセクション (Leica, 芝田)	実習⑤：データ解析 (2) 3) Progenesis (スクラム) 4) Keymolnet (KMデータ)	16:00
17:15	休憩	休憩	17:20
17:30	講義：翻訳後修飾解析 (木村(弥))	総合討論	17:30
17:45	講義：プロテオーム解析によるがんの診断と治療薬の開発 (山田)		
18:30	討 論		18:30
19:00	懇親会 (希望者)		

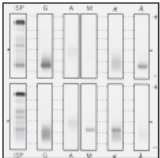



**蛋白分画・アイソザイムはもちろん
免疫固定法(IFE)も全自動処理！**

多発性骨髄腫のフォローアップとして推奨されている
蛋白分画および免疫固定法を全自動で行う事ができ、
しかも従来に比べコンパクト・低価格を実現しました。



血清蛋白分画



免疫固定法 (IFE)

測定項目

蛋白分画
IFE(免疫固定法)
LDアイソザイム
ALPアイソザイム
(骨型ALP含む)
CKアイソザイム
AMYアイソザイム
コレリコンボ
リポ蛋白分画

多項目全自動電気泳動分析装置

エパライザ2 ジュニア

本社 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-21-19
 ☎048-833-3208 FAX 048-833-3273 株式会社ヘレナ研究所

日本電気泳動学会企業会員

- | | | |
|---------------|------------|------------------------|
| アドバンテック東洋 (株) | 癸巳化成 (株) | コスモ・バイオ (株) |
| (株) 島津製作所 | シャープ (株) | ナカライテスク (株) |
| (株) ナード研究所 | 日本エイドー (株) | バイオ・ラッド ラボラトリーズ(株) |
| (株) ヘレナ研究所 | 和光純薬工業 (株) | (株)クリムゾン インタラクティブ ジャパン |

【日本電気泳動学会電子メール通信】は、日本電気泳動学会会員の皆様に配信しています。

【日本電気泳動学会電子メール通信】に対するご意見をメールにてお寄せ下さい。

ご意見を【日本電気泳動学会電子メール通信】に掲載希望の場合はその旨お知らせ下さい。

【アドレス変更/配信中止】【ご質問・お問い合わせ】は、本会事務局 (secretariat@jes1950.jp) 宛に
お願いいたします。